

市民に知らせず

地域の図書館を廃止・縮小へ

一月「豊中市立図書館みらいプラン」が出されました。副題に「すべての人の「わたしの図書館」をめざして」と書いているにも関わらず、現在ある図書館を大幅に廃止・縮小するものとなっています。

中央図書館をつくる一方、上記のように廃止・縮小のプランです。(サービスポイントとは予約資料の受け取り・返却のみにされます。)

ところが、この計画は市の広報2月号には一言も掲載されていません。当初は図書館にも掲示されていませんでした。豊中市民、地域住民、利用者が知ることがないまま進められています。

図書館面積  
36%減

現在 9館2室 15136㎡

プラン5館5サービスポイント 9695㎡

服部図書館⇒廃止またはサービスポイント  
高川図書館(廃止)⇒サービスポイント  
蛍池図書館(廃止)⇒サービスポイント  
野畑図書館⇒縮小  
東豊中図書館⇒縮小

服部、高川、蛍池図書館は、縮小と提案されている野畑図書館や東豊中図書館とともに地域で市民や利用者に溶け込み市民生活を豊かにする役割を果たしてきました。

小3年生の公共施設一

図書館見学もすでに中止

また、2021年まで実施されていた小学校の図書館見学は、図書カードを作り、利用の仕方を学び、未来の主権者として成

位置づけ	施設・配置	想定規模
中央館 1施設	豊中駅～曽根駅周辺に	5000㎡
地域館 2施設	庄内	1000㎡程度
	千里	2379㎡ (共用部含む)
分館 数施設に	中央館・地域館を補完	各500㎡程度
サービスポイント		各50㎡

計画の見直しを!

立派な中央図書館ができて、地域の隅々にある図書館をなくしては、すべての人の「わたしの図書館」とはなりません。全教は、豊中市に対して  
・地域住民への説明をすること  
・廃止スケジュールの見直しをもとめます。

豊中の市民団体の取組んでい「地域の図書館をなくさないで」署名に協力ください。



市立図書館の状況(令和4年12月現在)

図書室	高川図書館 8万冊	平成12年 (2000年) 【同上】	1,563.11㎡ 1,547.01㎡
	螢池図書館 6.5万冊	平成15年 (2003年) 【同上】	3,762.59㎡ 672.98㎡
	庄内幸町図書館 1.1万冊	平成5年 (1993年) 【同上】	181.81㎡ 484.58㎡
	利倉西センター図書室 0.3万冊	平成29年 (2017年) 【平成7年(1995年)】	- 19.25㎡
その他	いぶきサービス	-	-

	施設名 蔵書冊数	設置年 【建物建設年】	敷地面積 延床面積
地域館	岡町図書館 25万冊	昭和20年 (1945年) 【昭和44年(1969年)】	1,309.09㎡ 3,272.08㎡
	庄内図書館 7万冊	昭和50年 (1975年) 【同上】	3,687.45㎡ 1,085.63㎡
	千里図書館 15万冊	昭和53年 (1978年) 【平成20年(2008年)】	3,089.29㎡ 2,379.24㎡
	野畑図書館 30万冊	昭和63年 (1988年) 【同上】	2,000.01㎡ 3,846.46㎡
	東豊中図書館 6.5万冊	平成5年 (1993年) 【同上】	3,173.54㎡ 1,068.58㎡
分館	服部図書館 6.5万冊	平成11年 (1999年) 【平成10年(1998年)】	2,282.39㎡ 708.29㎡

廃止・縮小計画  
みらいプランの

みらいプラン素案



おどろき！  
高川・螢池図書館  
今年 上半期に閉館計画

表 26 施設配置スケジュール (予定)

	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	~	令和10~11年度 (2028~2029年度)	令和11年度~ (2029年度~)
(仮称)中央図書館	候補地選定	設計・工事等		設置(目安)	→
岡町図書館	→			廃止	
野畑図書館(分館)	自学自習室拡充	→			分館 →
東豊中図書館(分館)	複合施設の状況や地域性を考慮し調整				
豊中サービスポイント	開設	→			
螢池サービスポイント	上半期閉館 下半期工事等	開設	→		
高川サービスポイント	上半期閉館 下半期工事等	開設	→		
緑地公園駅周辺エリアのサービスポイント化	検討・調整				
服部図書館	→			サービスポイント 又は 廃止	